

# 津久井富雄市長が就任



津久井富雄市長

## 市長就任あいさつ

このたび、第6代大田原市長に就任いたしました津久井富雄です。

3月14日に執行された市長選挙においては、市民の皆様をはじめ各方面からの力強いご支援をいただき、当選の栄誉に浴することができました。誠に光栄の至りであり、皆様方に心から深く感謝申し上げますとともに、あらためて、その職責の重さに身の引き締まる思いがしております。

7万8000市民の負託を受け、決意を新たにし、市議会議員時代や県議会議員時代に培った知識や経験、さらには企業経営の積極的かつ戦略的な感覚を活かし、大田原市政の刷新に全身全霊、持てるすべての力を傾注し大田原市勢の発展と市民福祉の向上を期してまいる所存でございます。

さて、私はこのたびの選挙で、大田原の未来を考える「つくい富雄のチャレンジ」と題して、まちづくりの基本的な6点の重点項目をご提示させていただきました。これは、新たな視点でさらなる大田原市の飛躍と大田原市民の幸せ感の向上を目指したものであります。

まず、一点目ではありますが、市の未来を担う子育ての支援でございます。子どもを健やかに生み育てる環境づくりの施策を総合的に推進してまいります。

二点目は、高齢者や障害者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりでございます。医療・福祉・介護の充実を図り、高齢者や障害者に優しい福祉のまちづくり積極的に進めてまいります。

三点目は、地方主権時代の到来に備えて「おおたわら改革」を進めてまいります。財政改革とともに真に必要な事業を選択する事業仕分けを行います。

四点目は、緊急雇用経済対策の推進であります。国、県の制度を積極的に活用した市の雇用支援対策を進めてまいります。

五点目は、産業振興として「おおたわらブランド」の確立を進めてまいります。生命、環境、情報産業を

三本柱とし、産・学・官連携による新大田原市産業の確立を図ってまいります。

六点目は、医療と健康のまちづくりを積極的に展開してまいります。健康増進と予防医学の総合的な推進を図るとともに、国際医療福祉大学・地域医療機関と連携した市民のための医療と健康の最先端のまちづくりを進めます。

この緑豊かで清流のふるさと大田原市のまちづくりのために、市政の責任者として自ら先頭に立ち全身全霊を尽くして責任を全うしていく覚悟であります。

地方主権時代にあつて、あらためてその主役、主権者は市民の皆様であることを宣誓し、市長就任のあいさつとさせていただきます。

## 津久井市長が初登庁

3月14日に行われた大田原市長選挙で初当選した津久井富雄市長が第6代大田原市長に就任しました。

津久井市長は4月8日午前9時、市役所正門前に到着し、大勢の市民の皆様や市議会議員、市職員の拍手に迎えられ、正面玄関前まで笑顔で歩を進めました。玄関前で市職員か



市職員から花束を受け取る津久井市長

ら花束を受け取った後、大きな声援を背に庁舎に入りました。

午前9時30分から総合文化会館ホールで市職員を前に初訓示を行い、この中で津久井市長は「公約を実現するために、あらゆる努力をするつもりです。市民の皆様が安全な環境で安心を醸成し、一人一人の幸せ感が向上するよう共に働いていきたいと思います。」と訴えました。



市職員を前に就任のあいさつをする津久井市長

## 問い合わせ

秘書課秘書係

TEL (23) 8932